

事業名	リサイクルに適した着色薄膜ガラスびんの新規製造法に係る実用化開発事業
代表者名	代表取締役社長 山中 昭廣
研究代表者名	テクニカルカンパニー ガラス技術部 伊藤 勇治
実施場所	岩倉工場(岩倉市・愛知)
製品に関するお問い合わせ先	ガラスびんカンパニー 営業開発室 担当者：川村 秀幸 TEL：03-3863-5293 FAX：03-3863-7331 E-mail：kawamura@ishizuka.co.jp
URL	<a href="http://www.ishizuka.co.jp">http://www.ishizuka.co.jp</a>

**事業概要：** 我国の色別ガラス容器生産比率は、「無色透明」52%「茶色」42%「その他色(殆ど緑色)」6%である。「緑色」は、専用溶解炉で年間連続生産するほど量がない為、回収カレットの在庫が増え問題となっている。「その他色」の生産は、溶解炉の色替えをしながら行うが、色替え期間に3~7日間要し、その間のエネルギーが無駄になる。これらの問題点を解決するため、回収時の色分別が不要なリサイクルし易い着色薄膜ガラスびんの開発を行った。

**事業成果：** 薄膜コーティングによって無色透明のびんを着色すれば、色替えのエネルギーロスは解消され、直接ガラスに着色不可能な赤色、黄色、ピンク色等の色びんも提供する事が出来る。厚さ5 $\mu$ mの薄膜で熔融時に着色成分は炭酸ガスと水に分解して脱色するため、回収時の色分別が不要となり、リサイクルを促進させる事ができる。



▲着色薄膜ガラスびんの実用化例